

駒澤大学 2 - 1 流通経済大学



相手シュートをパンチングする牧野。ファインセーブで何度もピンチから救った公式戦初ゴールを決めた笹岡。2点目も、巻へのクロスを上げ間接的にゴールを演出した

(撮影・川崎篤彦)

流経大の猛攻防ぎ勝利

9月24日 14:10 川口市青木町公園総合運動場	
駒大 2 (0 - 0)	1 流経大 (2 - 1)
(1位・33)	(7位・19)
得点者(アシスト)	
【駒】49分: 笹岡新伍 1 (赤嶺真吾 5)	
【駒】70分: 赤嶺真吾 9 (巻 佑樹 5)	
【流】71分: 阿部 高 1	
KOMAZAWA	RYUTSUKUKEIZAI
GK 牧野利昭(4)	GK ₂₁ 飯塚 渉(2)
DF 塚本泰史(2)	DF 赤井秀行(2)
DF 廣井友信(3)	(87分 西森正明(3))
DF 阿部琢久哉(3)	DF ₃₂ 加藤広樹(1)
DF 筑城和人(3)	DF 鎌田次郎(2)
MF 桑原 靖(4)	DF ₂₆ 宮崎智彦(1)
MF ₂₈ 笹岡新伍(4)	MF 阿部 高(3)
MF ₃₃ 島田祐輝(1)	MF 糸数昌太(3)
(67分 巻 佑樹(3))	MF ₂₀ 三門雄大(1)
MF 鈴木亮平(4)	(60分 田村洋平(1))
(79分 31 五上直也(3))	MF 瀧原直彬(2)
FW 赤嶺真吾(4)	FW ₂₄ 難波宏明(3)
FW 原 一樹(3)	FW 池田 圭(1)
(87分 宮崎大志郎(3))	
S U B	S U B
GK ₂₂ 山内達夫(2)	GK ₂₂ 清水慶記(2)
DF ₁₃ 菊地光将(2)	DF ₁₃ 染谷悠太(1)
MF ₂₅ 田谷高浩(2)	DF ₁₅ 井上大輔(2)
FW ₂₄ 印出昌史(4)	MF 保崎 淳(1)
	MF ₄₁ 大峽 浩(2)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 中野雄二
警告(C) / 退場(S)	
【駒】22分: 笹岡新伍(C)	
【流】24分: 難波宏明(C)、51分: 赤井秀行	
[シュート]10:10[GK]13:14[CK]7:4[PK]0:0[直接FK]18:21[間接FK]18:31[OS]18:31[主審]山口博司[観衆]約450人	
上記データは全て左側の数字が駒澤	



後半、流経大の猛攻から駒大ゴールを守った牧野がこの日のMOM。何度が迎えた流経大の決定機を、牧野のファインセーブで防ぐシーンが何度か見られた。この日は、コーチングもいつもよりピッチによく湧き渡っていた。

最加速への契機

前期の流経大戦はまさに大きな契機となった試合だった。法大に自分たちの流れを作れず敗退。順大には2得点を上げ先行するも追いつかれてしまつ。そんな悪い流れを変えるための意識改革をした駒大は流経大に4対0と快勝。その試合の後は引き分けを挟んで4連勝と前期の流経大戦は上昇のポイントであった。

そして後期の流経大戦。前節までは2試合連続5ゴールと勢いに乗る駒大だったが小雨が降る空模様同様不安定なサッカーを展開。大きな要因は赤嶺対策とも言える流経大の長身CB加藤の存在。駒大の主な攻撃パターンの一つである赤嶺にロングボールを当てていくサッカーが、起点になる赤嶺が加藤との空中戦に負けることが多く味方にパスが繋がらず機能しない。攻撃の大きなバターンを失った駒大は、リズムが悪くシュートが枠に納まらない。逆にカウンター主体の流経大は、ボールを高い位置で奪い、難波を中心に鋭いカウンターを仕掛けて駒大ゴールを脅かし、駒大は牧野の

ファインセーブに救われる時間が続いた。

雨が上がるとともに駒大の攻撃に光が差し込んだ後半。「今日は積極的にゴールを狙った」と振り返り、事実チーム最多の4本のシュートを放った笹岡が49分、前半マンマークに終始したため疲れが残っている加藤を抜き去った赤嶺のパスから公式戦初のゴールを上げる。さらに67分に投入された巻が出場直後に、赤嶺にクロスボールを頭で落としゴールに繋げ早速自分の仕事を果たす。しかし、その後DFのマークの受け渡しに滞ってしまい敵FWにフリーでシュートを打たれ失点を喫してしまつ。点を取った後に失点を許す試合は前の試合から続く悪い流れ。だが、この流経大戦を前期同様大きな契機とし、悪い流れを断ち切り優勝に向かって更に加速するかどうかは、勝つことは当然としてどう勝つかにこだわりたい、という牧野の自信あふれる言葉から明白だ。

(香取 真人)